

原発、医療など暮らし直結の質問を予定

上野公悦議員

(18番目 15日午後の予定)

1. 柏崎刈羽原子力発電所の再稼働問題について

- (1) 市長は安心安全を守ることが第一任務だとしたが、「エネルギー事情を勘案すると再稼働やむなし」とした意味は何か。
- (2) 市長は「知事の判断を尊重する」としたが、「安心安全を守ることが第一任務」に照らして、それでよいのか。再稼働の是非について明確な立場を示すべきと考えるがどうか。
- (3) 花角知事に対し、再稼働容認判断の撤回・再考を求める申し入れと、県民投票など県民が直接意思を表明できる民主的な手続きを採るよう県に求めるべきだと考えるがどうか。

2. 市長公約について

- (1) 公約の「保育園の保育料と給食費の無償化」について
ア 公約全体の一貫性という点で、市民に分かりやすい説明が必要と考えるがどうか。
イ 同じ子育て世代で保育園家庭は無償、小中学生家庭は補填対応は、世代間の不公平感を生みかねない。この差をどのように認識し、今後の政策展開で公平性をどう担保するのか。
ウ 国は来年度小学校の給食費分月額4,700円を各自治体に交付する方向である。交付が実現した場合、市の補填分の取り扱いはどうする考えか。また、対象外の中学校給食費をどう扱うのか。また、不足分はどうするのか。
エ 政府の経済対策の2兆円規模の重点支援地方交付金の、当市

への配分はどの程度を見込んでいるか。

オ 上記の活用で中学生への支援を行い、公平にする考えはないか。また、その場合の中学生世帯への影響をどう考えるか。

橋爪法一議員

(25番目 16日午後の予定)

1. 市内にある2つの県立病院について

- (1) 県は、松代病院の無床診療所化について関係条例の整備をするとのことだが、それについての市長の考えを聞きたい。
- (2) 柿崎病院については、これまで県が市への移譲の道を探るなどの動きがあった。現段階で、県はどのような方針を市に示しているのか。そして今後、市はそれにどう対応するのか。

2. 市民の消火栓使用について

- (1) 9月議会の橋本洋一議員の一般質問の中で前市長は、「消防庁、県防災局、上越地域消防事務組合の見解を確認した」と述べたが、それぞれの組織の見解を改めて聞きたい。
- (2) 11月20日の吉川区地域協議会では、この問題で自主的な審議が行われ、今後も審議を続けることが確実な情勢となっている。市民の消火栓利用をめぐる諸課題をもう一度整理して、着地点を探るべきではないか。

平良木哲也議員

(26番目 16日午後の予定)

1. 上越地域医療センター病院の建て替えについて

党議員の一般質問

12月議会での一般質問(12/11～16)での3人の党議員の質問の予定日時、内容は次の通りです。

- (1) センター病院の建て替えの必要性をどう認識しているか。
- (2) 今年度予算で建て替え先送りの一定の応急対策が講じられたとしているが、どの程度の効果があると認識しているか。
- (3) 建て替え先送りによる診療活動への影響、患者の利便性への影響、病院のスタッフのモチベーションへの影響をどう把握しているか。また、当市の住みやすさの向上や人口確保への影響をどのように考えているか。
- (4) 大規模地震等の災害発生時の治療が必要な市民の受け入れは、現在の施設や設備でスムーズに行えるのか。
- (5) 上越地域医療構想調整会議における議論の同病院への影響をどのように考えているか。
- (6) 同調整会議の行方や、専門家による経営改善指導の見通し・改築規模・建設費軽減の如何に関わらず、補正予算や来年度当初予算に計上して建て替えに着手すべきではないか。

2. 「切れ目のない子育て支援」について

- (1) 当市の子育て支援では“切れ目”はどこにあるとの認識か。
- (2) 子育て支援の対象期間はいつからいつまでか。また、それぞれの時点での当市の施策の優位点と不十分点はどうか。
- (3) 「こどもセンター」を整備するのはなぜ「13区」なのか。また、地域性の他にどんな必要性や目的・機能を考えての公約か。

3. 公共施設の整備の方針について

- (1) 「こどもセンター」整備の方針は、前市長とは異なり、必要な施設は新整備を含め各地域に適切に整備していく姿勢か。

排外主義とは何か どう闘うか

たつみこーたろー衆院議員の講演から その4

日本共産党上越市議員団ニュース
No.891 2025年12月14日

連 上野 公悦 090-7260-9407 (頸城区中柳町)
絡 橋爪 法一 090-5392-1961 (吉川区代石)
先 平良木哲也 090-1808-6919 (上中田(金谷区))
(事務局長) 山本信子 090-4967-0367 (仲町2(高田区))
ホームページ <https://jcpjoetsugiindan.webnode.jp/>

「不法滞在者」は日本から出ていけ？
よく「不法滞在者」あるいは「違法滞在外国人」のような言い方があります。しかし、これは注意しなければならない用語です。「しんぶん赤旗」をはじめ、私たちは「不法滞在者」という言葉は使いません。実は世界的に「不法滞在者」という言葉や用語は使わないようにしようということが、国連総会の決議でも要請されているのです。

では、何と言ったらいいいのかというと、「非正規」「無登録」などの用語を用いるべきではないかと国連が要請しています。

正規の在留資格がないことは、行政法の範疇に属する違反で

す。殺人や傷害のような、いわゆる刑法に触れる犯罪ではなく、単なる行政法上の違反です。例えば、私たちが自動車を運転して、ちょっとしたスピード違反をしたとか駐車違反をしたとかというような類いですので、一般的な犯罪とは違います。

ところが、「不法滞在」というと、なにかひどく悪いことをしでかしているというイメージがあるわけです。実際はそうではなくて、国連総会の決議でも、「非正規滞在者」という文言を用いましょうということになっていますので、「出て行け」などということにはまったくなりません。この点も注意しておきたいところだと思います。